

実際、鳥取大学では紙の評価から「ステップラダーアプリ」へ移行したり、VRを使った分娩見学を活用したりすることで、指導者に依存しすぎない教育体制を実現しているとのことでした。Z世代の若手の特徴に合わせ、QRコードなどを活用した「短時間で高密度な参加型講義」を取り入れた結果、学生の満足度は4.83（5点満点）、研修2年目（POP2）の専攻決定率（入局希望率）も70%を超えるという驚異的な実績を出されています。

また、経営面でのアプローチも非常に実践的でした。材料使用の見直しによる約2.5億円のコスト削減や、ロボット手術加算による約5千万円の増収見込みといった経営的な数値を、若手医師ともしっかりと共有しているそうです。働き方改革の面でも、当直明けは「必ず昼までに退庁」させることを徹底し、終わらない業務は管理側が調整して負担を分散させています。教育への貢献もきちんと評価し、「頑張り損」を

防いで正当に報われる文化を作ることが、若手のモチベーション維持に不可欠だと学びました。

私たちの沖縄県でも、男性医師の育休取得に関するデータが不足していたり、若手が過剰な訴訟リスクに不安を抱えていたりといった独自の課題があります。これらに対しては、漠然とした不安を放置するのではなく、実態に基づいた「リスクコミュニケーション」を行っていく必要があると改めて思いました。

個人の自己犠牲や献身に頼るこれまでの体制を見直し、教育や業務を「非属人化」すること。それこそが、これからの時代に「選ばれる病院」へと生まれ変わるための第一歩なのだと学ぶ機会でした。

※報告書の詳細につきましてはホームページをご参照下さい。

<https://www.okinawa.med.or.jp/medical/kaihou/houkoku/202303-2/>



## お知らせ

### 沖縄県文化観光スポーツ部観光振興課からのお知らせ

#### おきなわ医療通訳サポートセンターについて

沖縄県では、外国人観光客の医療問題に対応すべく、多言語コールセンター（名称：おきなわ医療通訳サポートセンター）を開設し、医療機関向け①電話・映像医療通訳サービス②簡易翻訳サービス（医療機関向け）③インバウンド対応相談窓口（医療機関向け）をすべて無償で実施しております。

各医療機関におかれましては、是非、有効利用下さいませようご案内申し上げます。

【問い合わせ先】  
「おきなわ医療通訳サポートセンター」  
医療通訳サービス運営事務局  
（受託事業者：株式会社 BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS）  
☎ 0570-001-003

無料

24時間365日対応



① 電話・映像医療通訳サービス（26カ国語対応）

**0570-050-232**

② 簡易翻訳サービス（19カ国語対応）

**okinawairyou-honyaku@bridge-ms.com**

9時～17時・平日

③ インバウンド対応相談窓口

**okinawairyou-soudan@bridge-ms.com**  
**0570-050-233**



←詳細はこちらからご覧ください  
<https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/iryoutuyakukorusentar.html>